

# 原市小学校



笑顔いっぱい原小っ子  
力を合わせてできること

## ●節電に取り組み

「東日本大震災の被災者のためにできることはないか」と考え、原市小学校では、節電に取り組んでいます。

- ① 節電の内容は、全部で五つです。  
20分休み、昼休み、給食の時間は電気を消す
  - ② 移動教室の時、下校の時はエアカン・扇風機・電気を必ず消す
  - ③ 教室の窓側は、明るい時はなるべく電気を消す
  - ④ トイレや廊下の電気は、いつも消す
  - ⑤ そうじの時、電気をつけなくてもそうじができる所は消す
- 以上のことがみんなに徹底できるように、電気のスイッチの上にはポスターを貼ったり、新聞を発行したりして節電を呼び掛けました。小さなことでも積み重ねていけば、被災者の大きな力になると信じています。

(6年 福田 理湖)



節電を呼び掛けるポスターを貼る

## ●わくわくなかよしタイム



「わくわくなかよしタイム」で十字鬼をして遊ぶ

月1回、朝の時間に遊ぶ「なかよしタイム」があります。その中でも年に1回、「わくわくなかよしタイム」があります。給食を詰めたお弁当を持って、グループのみんなが校庭で仲良く食べます。1年生から6年生までが食べるので、いつもの給食よりもおいしく感じられます。

「わくわくなかよしタイム」では、食べた後にグループの半分ずつが、他のグループの開いている「へびじゃんけん」や「十字鬼」など、いろいろな遊びをしに仲良く回ります。二つの校庭を広く使えて思い切り遊べるので、仲良く楽しめるのもいい時間です。

6年生は下級生をまとめる役割があります。大変ですが、グループのみんなが楽しんでいるのを見ると、やってよかったなとうれしくなります。責任感も持てるので、とてもやりがいがあります。

(6年 大森 晴登)  
(6年 佐々木 優)

Ageo Primary school News

# あげお ジュニア 通信

市内各小学校の児童の皆さんが、自分たちの学校の話などを取材し、編集したものをご紹介します。

## 大石小学校



### ●キンモクセイ

大石小学校のシンボルは、校庭の真ん中に立つキンモクセイです。樹齢約90年のお年寄りで、幹周り2メートル、枝周り約12メートルで、校庭の真ん中にずっしりと立っています。

校舎の建て替えなどがあったため、現在のように、校庭の真ん中になったそうです。

キンモクセイは大石小のシンボルで、今まで多くの子どもたちを見守ってきました。

(6年 山田 彩葉)



校庭の真ん中に立つキンモクセイ

### ●自慢できる行事

大石小学校には、二つの楽しい行事があります。一つは1学期に行う「大石オリエンテーリング」で、集会委員会の児童が中心に、クイズなどをクリアしていく集会です。「じゃんけん3回勝つ」「好きな食べ物を三つ言おう」など毎年



全校集会「シルエットクイズ」のお店

二クなものがあります。

もう一つは2学期に行う「全校集会」です。児童会が中心になり、各クラスが出し物を考え、お店形式でやる集会です。ポウリングや人間すごろく、ゴーストハンター、シルエットクイズなど面白いお店があります。

私たち6年生が卒業しても、受け継がれていくこの行事は、私の誇りです。

(6年 松原 菜々子)

### ●自校体操とハンドサイン

大石小学校の自慢といえば、オリジナルの自校体操です。みんな楽しく真剣に取り組んでいます。内容は大石小の校歌に乗って、ブリッジ、V字バランス、パービージャンプなどをします。

もう一つの自慢はハンドサインです。「グー」が座る「チヨキ」が前做え、「パー」が気を付けです。繰り返し返すうちに、先生がサインを出すと、すばやく動くことができます。

(6年 吉田 七星)

Ageo Primary school News

※次回の「あげお ジュニア 通信」は、平方小学校と大谷小学校をご紹介します。お楽しみに…。